

令和5年度

第1回 入間市立図書館協議会

日時:令和5年6月29日(木)

午後2時30分～

会場:入間市産業文化センターB棟3階

教育センター 第1・第2研究室

次 第

1 開 会

2 あいさつ

3 報告事項

(1) 令和4年度図書館利用状況について

(2) 令和4年度社会教育施設アクションプランについて

4 協議事項

(1)本館における午後8時以降の閲覧席開放について

5 その他

6 閉 会

入間市立図書館協議会 委員名簿

任期：令和4年4月1日から令和6年3月31日まで

No.	職	氏名	選出基準等	備考
1		しおざわ えいち 塩澤 榮一	学 校 教 育 関 係 者 (官 寺 小 学 校 長)	新任
2	会長	しみず しげる 清水 繁	学 識 経 験 者	
3		のぎま ひろのぶ 野崎 皓布	学 識 経 験 者	
4	副会長	おおたけ ちさと 大竹 千里	社 会 教 育 関 係 者 (ボ ラ ン テ ィ ア ト ト ロ)	
5		もりや ひでかず 森谷 秀一	社 会 教 育 関 係 者 (ボ ラ ン テ ィ ア ど ん ぐ り)	
6		いしかわ きょうこ 石川 京子	社 会 教 育 関 係 者 (ボ ラ ン テ ィ ア 茶 の 花)	
7		あさち ゆきこ 浅地 由紀子	社 会 教 育 関 係 者 (朗 読 ボ ラ ン テ ィ ア は づ き)	
8		まつた ゆきよ 松田 千代	社 会 教 育 関 係 者 (ボ ラ ン テ ィ ア か ざ ぐ る ま)	
9		あおやま いっこ 青山 衣津子	公	募
10		はが たかお 芳賀 隆夫	公	募

※図書館協議会は、図書館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、図書館の行う図書館奉仕につき、館長に対して意見を述べる機関とする。(図書館法第14条第2項)

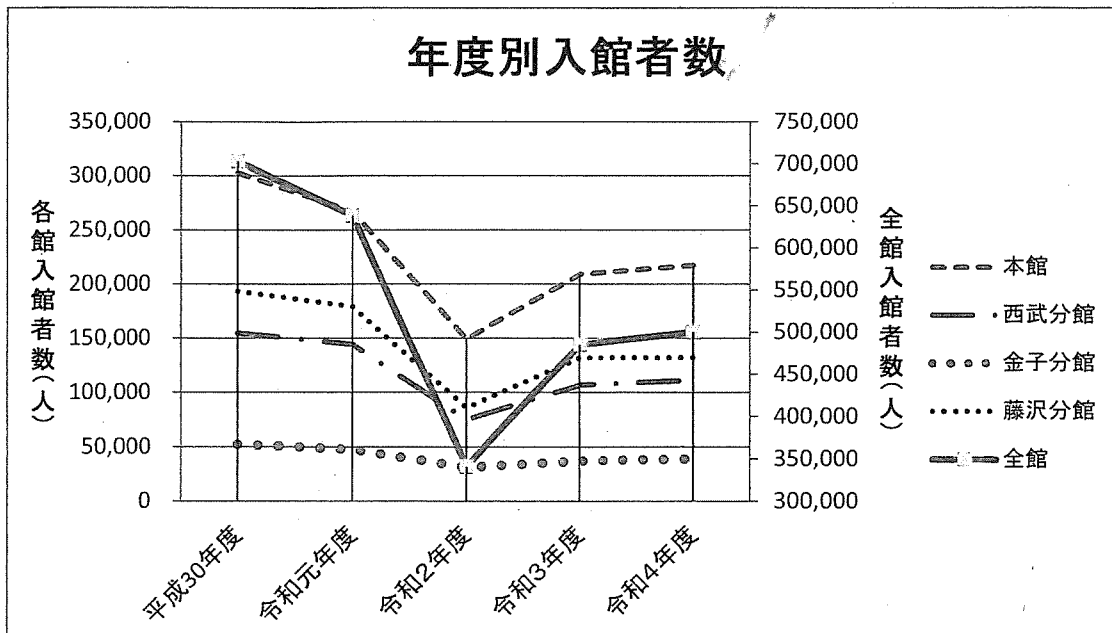
令和4年度図書館利用状況について

資料1

1 年度別 入館者数

(単位:人)

内 訳 \ 年 度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
本 館	302,919	267,343	149,111	209,232	217,195
西 武 分 館	154,825	144,565	74,817	107,006	111,501
金 子 分 館	52,431	47,535	31,269	37,053	39,261
藤 沢 分 館	193,411	179,216	85,842	132,073	132,439
年 度 計	703,586	638,659	341,039	485,364	500,396



利用人数は、平成30年から減少傾向にあり、令和2年度には、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急事態宣言の発出や、まん延防止等重点措置による人流抑制の影響により大きく減少した。令和3年度より緩やかに回復している。ピークである平成30年度利用者比で、71%まで回復した。

令和元年度は 対前年度比9.2%減少。

令和2年度は 対前年度比46.60%減少。

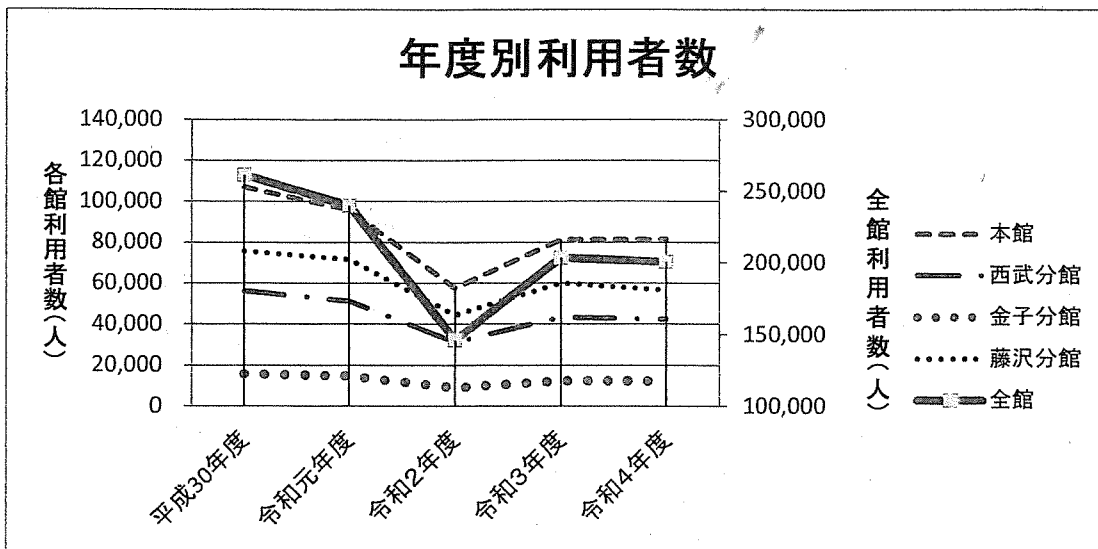
令和3年度は 対前年度比42.30%増加。

令和4年度は 対前年度比3.09%増加。

2 年度別 利用者数 (貸出者数)

(単位:人)

内 訳	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
本 館		106,973	95,958	57,525	81,220	81,461
西 武 分 館		56,289	51,152	31,241	43,304	42,387
金 子 分 館		15,759	14,688	9,029	12,421	12,339
藤 沢 分 館		75,691	71,606	44,412	59,930	56,587
移 動 図 書 館		5,835	5,881	3,252	5,884	7,168
配 本 所		791	661	497	636	604
年 度 計		261,338	239,946	145,956	203,395	200,546



平成30年度開館日数	300日
令和元年度開館日数	286日
令和2年度開館日数	250日
令和3年度開館日数	296日(ただし本館のみ1/10(月)臨時休館のため295日)
令和4年度開館日数	284日(ただし本館のみ1/9(月)臨時休館のため283日)

令和元年度は対前年度比8.2%減少。新型コロナウイルス感染拡大防止にかかる臨時休館(3/14~3/31)による影響を受けた。

令和2年度は対前年度比39.17%減少。新型コロナウイルス感染拡大防止にかかる臨時休館(4/1~5/24)、5/26~6/12の「予約取り置き済み資料の貸出しのみ」のサービス、6/13~6/28の閲覧席等椅子の利用制限、1/6~3/21の「予約取り置き済み資料の貸出しのみ」のサービス、その他利用者の外出自粛により貸出者ベースでの利用者数は大きく減少した。

令和3年度は全体で対前年度比39.35%増加。館別では、本館(+41%)、西武分館(+38.6%)、金子分館(+37.6%)、藤沢分館(+34.9%)と各館ともに大きく前年度を上回った。これは、新型コロナの感染拡大が落ち着き、人流抑制措置が緩和されたことに伴って回復したものと考えられる。

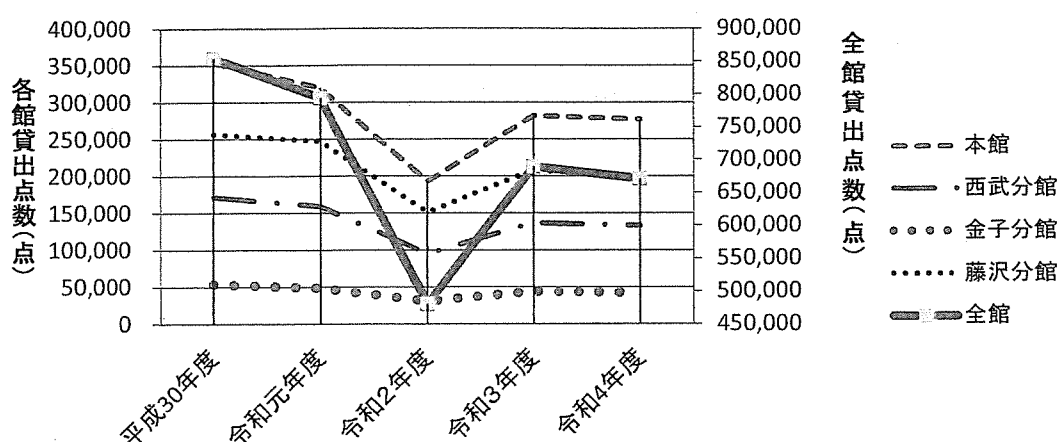
令和4年度は全体で対前年度比1.4%減少。館別では本館(+2.9%)、西武分館(Δ2.1%)、金子分館(Δ0.6%)、藤沢分館(Δ5.5%)と、分館は若干減少した。

3 図書館資料の年度別利用状況（貸出点数）

(単位:点)

内 訳	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
本 館	353,709	320,037	192,759	281,869	277,008
西武分館	171,405	159,316	95,218	136,794	133,178
金子分館	53,907	48,812	31,026	44,316	42,502
藤沢分館	256,762	247,081	151,080	208,375	197,074
移動図書館	17,077	17,111	9,248	16,787	19,548
配本所	2,235	1,928	1,434	1,579	1,388
年 度 計	855,095	794,285	480,765	689,720	670,698

図書館資料の年度別利用状況



令和元年度は 対前年度比7.1%減少。新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う休館(3/14～3/31)による減少が著しい。

令和2年度は 対前年度比39.47%減少。新型コロナウイルス感染拡大防止にかかる臨時休館や部分開館、利用者の外出自粛に伴う図書館利用の減少が著しい。

令和3年度は対前年度比43.46%増。館別では、本館(+46.23%)、西武分館(43.66%)、金子分館(+42.84%)、藤沢分館(+37.92%)と各館ともに前年度から増えた。過去5年間のピークである平成30年度との比較では、ピーク時の8割程度の利用となっている。

令和4年度は、対前年度比で2.76%減少した。館別では本館(△1.72%)、西武分館(△2.64%)、金子分館(△4.09%)、藤沢分館(△5.42%)と各館ともに減少した。こうした中で、グラフにはないが、移動図書館のみ、16.45%増加した。

4 年度別 資料点数 (図書館資料)

(単位:点)

年度 内 訳	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
一般図書	376,504	378,412	379,882	379,152	385,340
児童図書	173,768	176,470	178,622	178,366	179,075
雑誌	13,743	13,550	13,110	12,701	12,436
小 計	564,015	568,432	571,614	570,219	576,851
コンパクトディスク	5,158	5,230	5,305	5,304	5,474
カセットテープ	2,468	2,401	2,410	2,395	2,065
ビデオテープ	2,113	2,055	1,996	1,701	1,354
D V D	1,109	1,211	1,259	1,311	1,437
美術作品 (複製画)	39	39	39	39	39
DAISY 図書	62	62	70	74	82
小 計	10,949	10,998	11,079	10,824	10,451
総資料点数	574,964	579,430	582,693	581,043	587,302

※視聴覚資料については、平成24年度以降プログラム変更によりデータ集計方法が変更された。(例. CD3枚組 3点⇒1点)

※平成28年度より、内訳にDAISY図書を設けた。

(平成27年度まではCD-ROMの数値です)

5 令和4年度 館別資料点数 (図書館資料)

(単位:点)

館名 内 訳	本館	移動図書館	配本所	西武分館	金子分館	藤沢分館
一般図書	175,218	2,940	5,299	99,455	29,648	72,780
児童図書	73,130	751	1,988	41,103	23,604	38,499
雑誌	6,063	10	0	2,714	1,344	2,305
小 計	254,411	3,701	7,287	143,272	54,596	113,584
コンパクトディスク	5,438	36	0	0	0	0
カセットテープ	2,065	0	0	0	0	0
ビデオテープ	1,354	0	0	0	0	0
D V D	1,396	41	0	0	0	0
美術作品 (複製画)	39	0	0	0	0	0
DAISY 図書	82	0	0	0	0	0
小 計	10,374	77	0	0	0	0
総資料点数	264,785	3,778	7,287	143,272	54,596	113,584

6 視聴覚ライブラリー機材等 年度別利用状況（西武分館）

（単位：点、人）

年度		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
16ミリ映画フィルム	所有数	235	235	235	235	236
	利用者数	1	3	0	0	0
ビデオテープ	所有数	20	20	20	20	20
	利用者数	1	0	0	0	0
DVD	所有数	166	181	193	199	219
	利用者数	41	50	4	11	16
レーザーディスク	所有数	122	122	122	122	122
	利用者数	0	0	0	0	0
16ミリ映写機	所有数	5	5	5	5	5
	利用者数	1	1	0	0	0
スライド映写機	所有数	2	2	2	2	2
	利用者数	0	0	0	0	0
O. H. P	所有数	1	1	1	1	1
	利用者数	0	0	0	0	0
ビデオデッキ	所有数	1	1	1	1	1
	利用者数	0	0	0	1	0
ビデオカメラ	所有数	1	1	1	1	1
	利用者数	0	0	0	0	0
ビデオプロジェクター	所有数	1	1	1	2	2
	利用者数	14	17	0	4	6
ワイヤレスマイク付スピーカー	所有数	1	1	1	1	1
	利用者数	13	11	2	5	8
スクリーン	所有数	6	6	6	6	6
	利用者数	3	7	0	0	1
暗幕	所有数	4袋(8枚×3)・(4枚×1)	4袋(8枚×3)・(4枚×1)	4袋(8枚×3)・(4枚×1)	4袋(8枚×3)・(4枚×1)	4袋(8枚×3)・(4枚×1)
	利用者数	30	15	4	3	16
延長コード	所有数	2	2	2	2	2
	利用者数	33	20	8	11	16
フィルム巻戻し機	所有数	5	5	5	5	5
	利用者数	0	0	0	0	0

1 社会教育事業の充実											
重点施策	重点施策の目標	重点事業	実施内容	評価指標	R3年度実績	R4年度目標	令和4年度事業実績	達成率	自己評価		
									事業評価点数	事業評価の主な理由	課題及び改善点(又は今後の方向性)
1-1 学習の機会提供の充実	魅力ある図書館づくりを目指して、地域情報拠点機能の充実を図りながら、各世代の利用促進事業を充実させる。また、電子図書館サービスについて、来館の少ない10代後半から40代の子育て世代を中心とした電子書籍の収集に努める。	電子図書館(電子書籍)の活用	① 電子図書資料点数の充実	年間受入数	1,485 点	600 点	1,994 点	332%	5	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金等を活用し購入することで、目標を大きく上回り達成できたため。	電子図書館の利用者増加のため、引き続き資料の充実を図っていく。
			② 電子図書館利用登録者数の拡大	年間登録者数	1,377 人	500 人	504 人	101%	5	図書館新規登録時にPRすることなどにより、目標どおり実績を上げることができたため。	引き続き、利用者の増加を図るため、PRに努めていく。
		運営にかかわるボランティア募集と市民参加による運営の推進	① ボランティアグループとの勉強会の開催	年間実施回数	37 回	40 回	60 回	150%	5	月1回定期的に開催できたほか、おたのしみ会の準備等も通じて勉強会を開催することができたため。	引き続き、ボランティアグループと連携を図り、定期的に勉強会を開催していく。
			② 読み聞かせボランティアグループのおはなし会への参加	参加人数	163 人	200 人	478 人	239%	5	コロナ禍で参加を控えている会員もいるが、多くのボランティアの方に参加していただくことができたため。	引き続き、ボランティアグループと連携を図っていくとともに新たな会員の確保にも努める。
			③ 「藤沢朗読会」を開催(藤沢分館 協力:朗読グループ「藤沢朗読会」)	年間実施回数	2 回	10 回	11 回	110%	5	目標より多く実施することができたため。	今後とも、引き続き開催していく。そのために、早期に会場を予約するよう努める。
			④ ボランティア研修会の実施	実施回数	0 回	1 回	0 回	0%	1	コロナ禍のため、実施することができなかったため。	読み聞かせに限らず、様々な役割のボランティアを育成できるよう、研修会の実施に努める。
		利用促進事業の開催	① 文学講座の開催	参加者数	0 人	100 人	0 人	0%	1	コロナ禍のため、実施することができなかったため。	体制を整え実施に努め、利用促進を図っていく。
			② 利用促進のため分館3館で自主事業を開催	実施事業数	40 事業	40 事業	63 事業	158%	5	R3年度に実施できなかった事業を開催したほか、新たに郷土歴史講座、俳句ポスト設置を開催したことにより目標を上回る実施数となったため。	今後とも、自主事業の実施に努め、利用促進を図っていく。
			③ 公民館との共催事業の開催	実施事業数	8 事業	8 事業	16 事業	200%	5	学習講座、読み聞かせ講座、工作会等を共催し、目標を上回ったため。	今後とも公民館(地区センター)と連携を図り、事業を実施していく。
		本館閲覧席開放事業	① 本館閲覧席夜間開放事業(20:00~21:30)による利用者数平均	利用席数	10 席	15 席	10 席	67%	3	1月より席数は増やしたが、利用は増加しなかったため。	夜間の時間帯にかかる経費と利用者数を比較し、継続するかどうかも含めて検討する。
		視聴覚ライブラリーを活用した映画会の開催	① 視聴覚ライブラリーを活用し映画会を開催	年間上映回数	0 回	24 回	5 回	21%	2	西武分館視聴覚室は換気システムがコロナ禍では十分でないことから開催を見送ったが、金子分館・藤沢分館では、視聴覚ライブラリーの作品を活用した映画会を開催することができたため。	西武分館視聴覚室以外(会議室など)での開催を検討していく。
		ダイア4市及び青梅市との利用促進	① ダイア4市との相互利用促進	相互利用数	28,795 人	28,890 人	26,572 人	92%	5	目標には若干届かなかったが、多くの市外の方に利用してもらい、概ね目標を達成できたため。	今後とも、相互利用のPRを行い、利用促進に努める。
			② 青梅市との相互利用促進	相互利用数	104 人	110 人	80 人	73%	3	PR不足のためか、目標を下回ったため。	青梅市民への呼びかけ方法を考えるなど、利用促進に努める。

重点施策	重点施策の目標	重点事業	実施内容	評価指標	R3年度実績	R4年度目標	令和4年度事業実績	達成率	自己評価		
									事業評価点数	事業評価の主な理由	課題及び改善点(又は今後の方向性)
1-2 資料の収集・提供	各世代向けの図書資料の充実を図り、提供していくことで地域の課題解決を支援する。	図書館資料の充実	① 蔵書資料点数の充実	蔵書数	581,043 点	585,000 点	587,302 点	100%	5	幅広い分野の資料を受入れすることで、目標点数を達成することができたため。	引き続き蔵書の充実に努める。
			② 貸出点数の増加	貸出点数	689,720 点	860,000 点	670,698 点	78%	4	システム更新に伴う休館や館内設備故障の影響などにより、目標点数を下回ったため。	貸出し点数の増加に努める。
		市民ニーズに応える資料の充実	① 市民ニーズに応えた一般向け図書の購入	年間購入数	4,671 点	6,500 点	5,639 点	87%	5	文庫本等比較的安価な資料を多く購入したことにより、購入数としては目標点数を下回ったが、概ね順調に購入できたため。	市民ニーズに応える図書の購入に努める。
			① 子どもの読書推進のための児童書や調べ学習に活用する図書の購入	年間購入数	2,592 点	2,600 点	2,887 点	111%	5	小学校の調べ学習用の図書を多く購入するなどして、目標点数を達成することができたため。	特に調べ学習に活用する図書の購入に努める。
		参考図書の購入	① 各種調査研究のための参考図書の購入	年間購入数	165 点	175 点	154 点	88%	5	比較的高価な参考図書を多く購入したことにより、購入数としては目標点数を下回ったが、概ね順調に購入できたため。	市民の求める情報を的確に提供できるよう参考図書の収集に努める。
		地域、行政資料の充実	① 郷土行政資料の充実	年間収集数	363 点	400 点	346 点	87%	5	資料をデジタル化する傾向にあるので、図書の寄贈が減少傾向にあるためか、目標点数を下回ったが、概ね順調に収集できたため。	発行される郷土行政資料で継続的に受け入れしている資料は漏れなく収集できるよう努める。
		視聴覚資料の購入	① CD、DVDの購入	年間購入数	116 点	270 点	129 点	48%	3	比較的高額なDVDを多く購入したため、購入数としては目標点数を下回ったため。	計画的な購入に努める。
		大活字本の購入	① 視力の弱い方や高齢者の読書推進のための大活字本の購入	年間購入数	92 点	110 点	102 点	93%	5	目標点数を概ね達成することができた。定評のある出版者の図書は全点購入することができたため。	引き続き購入するように努める。また、新たな出版社を開拓する。
		外国語図書の購入	① 外国語図書の購入	年間購入数	10 点	20 点	10 点	50%	3	多文化サービスの本を購入したため、外国語図書(絵本含む)については目標点数を下回ったため。	外国語図書は購入できなかったが、多文化サービスの本は購入した。今後は、単に外国語というだけでなく、多文化サービスを中心とした選書に心掛けたい。
		企業からの雑誌寄贈受入れ	① 企業スポンサーによる雑誌寄贈の受入れ	年間寄贈雑誌種数	25 タイトル	25 タイトル	35 タイトル	140%	5	積極的に企業に声をかけることにより、2社増えたため。	雑誌の休刊が相次ぐ中、選書することが難しい面もあるが、今後とも企業に協力してもらい、受入れ雑誌を増やせるよう努める。
		レファレンスサービスの充実	① 司書資格職員数の確保	司書職員数	38 人	40 人	44 人	110%	5	本館13名、西武15名(司書補2名含)、金子5名、藤沢11名の職員数で、目標を上回ったため。	本館については、司書有資格職員を要望するとともに、司書講習を受講できるよう予算の確保にも努める。
			② レファレンスサービス向上のため、県、地区等の研修会に参加	参加回数	0 回	1 回	1 回	100%	5	日程が合わず不参加となった回もあるが入門編には参加できたため。	レファレンスの向上のため、参加できるよう努める。
		障害者資料及び点訳絵本の作成	① 録音資料の作製	作製点数	6 点	4 点	5 点	125%	5	目標点数以上の作製をすることができたため。	朗読ボランティアと連携を図り、作製していく。
			② 点訳絵本の作製	作製点数	7 点	5 点	1 点	20%	2	点訳に必要な消耗品等の準備不足で目標に達することができなかったため。	点訳ボランティアとの連携を図り作製していくとともに、消耗品の予算確保にも努める。

重点施策	重点施策の目標	重点事業	実施内容	評価指標	R3年度実績	R4年度目標	令和4年度事業実績	達成率	自己評価		
									事業評価点数	事業評価の主な理由	課題及び改善点(又は今後の方向性)
1-3 社会教育に関する情報の提供	図書館資料の最新情報等を図書館ホームページ、図書館だより、広報いるま等、様々な方法により、正確かつ迅速に伝える。	図書館情報の発信及びホームページ等の充実	① 図書館ホームページのメンテナンスを実施	メンテナンス実施回数	12 回	12 回	9 回	75%	4	前システム時(R4. 04~12)は毎月1回メンテナンスを実施していたため。	新システムでもメンテナンスを行い、よりよいサービスを提供していく。
			② パスワード登録者数	新規パスワード登録者数	3,229 人	3,300 人	3594 人	109%	5	目標以上の登録者数だったため。	パスワード登録により、予約ができたりマイページで様々なことができるため、今後ともPRに努める。
		図書館だよりの発行	① 図書館だよりの発行	年間発行回数	4 回	4 回	4 回	100%	5	目標どおり発行できたため。	引き続き図書館や本の情報をお伝えできるよう努める。ホームページにも掲載する。
			② 図書館だよりイベント版の発行	年間発行回数	—	12 回	12 回	100%	5	新たに発行を始め、目標どおり発行できたため。	図書館のイベント最新情報を伝えるよう努める。
		コミュニティFM放送、CATVでの図書館情報と資料紹介	① コミュニティFM放送に出演	年間出演回数	53 回	52 回	52 回	100%	5	毎週1回出演することで、目標を達成することができたため。	地域の方に図書館や本の情報を伝えるために有効な手段であるため、引き続き出演に努める。
			② CATVでの図書館情報と資料を紹介	年間出演回数	5 回	6 回	1 回	17%	4	主な出演機会であった番組「ハローいるま」が終了したため、目標に達することができなかったが、別の機会としてニュース入間出演し、「新しくなった図書館」をPRできたため。	「ハローいるま」の終了は残念であるが、他の機会に出演できるよう、CATVとも連携を図っていく。
		「広報いるま」に図書館に関する特集記事を掲載	① 「広報いるま」の毎月1日号に図書館関連記事を掲載	年間掲載月数	12 回	12 回	12 回	100%	5	イベントや図書館からのお知らせを掲載することができ、目標を達成することができたため。	「広報いるま」が誌面リニューアルするが、できるだけ多くの図書館の記事を掲載できるよう努める。

2 家庭・地域の教育力の向上

重点施策	重点施策の目標	重点事業	実施内容	評価指標	R3年度実績	R4年度目標	令和4年度事業実績	達成率	自己評価		
									事業評価点数	事業評価の主な理由	課題及び改善点(又は今後の方向性)
2-1 乳幼児の親を支援する事業の充実 小中学生の親を支援する事業の充実	ブックスタート関連事業を中心とした子育て支援策を検討するとともに、「おはなし会」や「おたのしみ会」、「一日図書館員」などの利用促進事業をとおして、子育て、家庭教育力の向上を図る。	おはなし会の開催	① おはなし会の開催	開催回数	89 回	350 回	278 回	79%	4	目標数には達しなかったが、コロナ禍でも感染症対策を徹底し、開催に努めたため。	通常のおはなし会を再開し、多くの子どもたちに参加してもらえるよう努める。
		おたのしみ会の開催	① 冬のおたのしみ会の開催	開催回数	0 回	6 回	4 回	67%	5	目標は6回としたが、これはおたのしみ会の回数であり、このうち「冬のおたのしみ会」は各館で1回づつ合計4回実施できたため。	「冬のおたのしみ会」は子どもたちに絵本の世界を楽しんでもらうとともにボランティアの発表の場でもあるため、引き続き開催していく。
		あれこれブックガイドの作成	① 小学生へのあれこれブックガイドの作製、貸出	貸出点数	—	1,500 点	5,264 点	351%	5	目標を大きく上回る貸出点数だったため。 *ただし、新システムでの集計による。	より多くの小学生に本を紹介し、読書してもらえるよう継続していく。また、紙での発行以外の配信方法についても検討する。
		あれこれブックガイドの作成	② 中学生へのあれこれブックガイドの作製、貸出	貸出点数	—	500 点	107 点	21%	3	目標は下回ったが、作製し、全中学生に配布することができたため。 *ただし、新システムでの集計による。	今年度から中学生向きを作製したため、今後はより多くの生徒に活用してもらえるように努める。
		読書ラリーの実施	① 読書ラリーの実施	修了者数	765 人	780 人	764 人	98%	5	多くの児童に参加してもらい、概ね目標を達成できたため。	今後とも、読書の楽しさを伝えるようなラリーを実施できるよう努める。
		図書館見学(小学校3年生)の実施	① 図書館見学(小学校3年生)の実施	参加校数	0 校	16 校	16 校	100%	5	コロナ禍で中止していた本事業を実施することができ、市内全校が参加したため。	見学は、図書館を知ってもらうよい機会なので、引き続き学校と連携を図りながら実施していく。
		図書館利用教室(小学校2年生)の実施	① 図書館利用教室(小学校2年生)の実施	参加校数	0 校	16 校	16 校	100%	5	コロナ禍で中止していた本事業を実施することができ、市内全校が参加したため。	利用教室では、図書館の利用方法だけでなく、読み聞かせやブックトークを行う。引き続き学校と連携を図りながら実施していく。
		一日図書館員の実施	① 一日図書館員の実施(本館)	参加者数	0 人	48 人	45 人	94%	5	コロナ禍で中止していた本事業を実施することができ、定員いっぱいでの申し込みがあったため。(当日欠席あり)	一日図書館員は、貸出や返却だけでなく修理などの仕事も体験してもらい、図書館をより知ってもらうよい機会のため、引き続き実施していく。
		学校図書館ボランティア育成のための研修会の実施	① 学校図書館ボランティア育成のための研修会の実施	参加者数	0 回	1 回	1 回	100%	5	コロナ禍で中止していた本事業を実施することができ、多くの参加があったため。	本の修理の実習を行ったが、今後は他の内容の研修も行えるよう努める。
ブックスタート関連事業の実施	① ブックスタート関連事業の実施	年間実施回数	0 回	12 回	0 回	0%	3	コロナ禍のため、赤ちゃんがいる会場に向いて実施することはできなかったが、絵本を紹介するリーフレット作製し、配布することができたため。	赤ちゃんに絵本を読み聞かせすることは親子のコミュニケーションに有効なため、引き続きこのことを啓発する機会を確保するよう努める。		
2-2 学校・家庭・地域の連携の促進	関連する市民団体や他の行政機関との連携・協力した事業を実施し、読書活動の推進を図る。	移動図書館車の学校への定期的な巡回を実施	① 移動図書館車の学校への定期的な巡回を実施	巡回学校数	8 校	8 校	8 校	100%	5	小学校へ定期的に巡回することにより、目標を達成することができたため。	引き続き実施するとともに、新たな巡回場所の研究に努める。
		配本サービスの継続	② 配本サービスの継続	配本数	26,797 点	30,000 点	23,172 点	77%	4	目標設定が高すぎたのか、目標に大きく届かなかったが、多くの学校に配本し、図書を利用してもらったことができたため。	作業人員が厳しい状況であるが、サービスの維持に努める。また、希望する本を配本できるよう、図書の充実にも努める。
		市内高等学校の図書担当教諭との情報交換会議の開催	③ 市内高等学校の図書担当教諭との情報交換会議の開催	開催回数	0 回	1 回	1 回	100%	5	コロナ禍で中止していた会議を開催し、高校生の読書状況等の情報を得ることができたため。	高校生のニーズ等を得られる貴重な場であるので、引き続き開催していく。
		庁内関係課との連携事業を実施	④ 庁内関係各課との連携協力による事業の実施	開催回数	6 事業	8 事業	7 事業	88%	5	コロナ禍で規模縮小の事業もあり、回数は目標に達することができなかったが、「入間市平和祈念資料展」「入間市自然展」「認知症ブックフェア」「入間万燈まつり」「児童虐待防止関連図書展示」「パープルリボン関連図書展示」「人生会議関連図書展示」の連携事業を実施することができたため。	子ども向け事業やリサイクルフェアなどでも連携できるよう努める。

3 青少年教育の充実												
重点施策	重点施策の目標	重点事業	実施内容	評価指標	R3年度実績	R4年度目標	令和4年度事業実績	達成率	自己評価			
									事業評価点数	事業評価の主な理由	課題及び改善点(又は今後の方向性)	
3-1 体験活動の機会提供	青少年が気軽に利用できる環境を整えるとともに、青少年向けの資料の充実を図る。	図書館を使った調べる学習コンクールの開催	① 図書館を使った調べる学習コンクールの開催	応募作品数	204 点	250 点	256 点	102%	5	前年比124%で目標達成したため。参加児童の調べ学習レベルが向上した。全国コンクールで優良賞1点輩出したため。	市内児童および保護者への広報が課題。学校を通じた新たな広報、SNSを使用した新たな広報を模索する。	

4 社会教育施設等の整備												
重点施策	重点施策の目標	重点事業	実施内容	評価指標	R3年度実績	R4年度目標	令和4年度事業実績	達成率	自己評価			
									事業評価点数	事業評価の主な理由	課題及び改善点(又は今後の方向性)	
4-1 図書館施設の充実	指定管理者及び各施設管理者と連携・協力して管理運営を行うとともに、十分な協議を行い、快適な読書環境の整備に努める。	公衆無線LAN(wi-fi)の導入	① 公衆無線LAN(wi-fi)の導入	導入施設数	—	4 施設	4 施設	100%	5	計画どおり、すべての館に設置することができたため。	公衆無線LAN設備の維持を続ける。	
		自動応答電話による情報提供の継続	① 自動応答電話による情報提供の継続	着信数	1,165 回	1,300 回	1,023 回	79%	5	新システムになって廃止されたため目標数に達していないが、旧システム中は1,023回の利用があったため。	自動応答電話に変わる機能としてLINE連携やホームページの刷新を図った。引き続き便利な方法で情報提供できるよう努める。	
		図書館運営の自己評価及び図書館協議会による外部評価を公表	① 図書館運営の自己評価及び図書館協議会による外部評価を公表	評価と公表の実施	1 回	1 回	1 回	100%	5	社会教育施設アクションプランの各項目について図書館協議会委員の外部評価をいただいた上で、会議録とともにホームページ上に公表することができたため。	継続して実施する。	
		指定管理者との連携・協力による本館と分館に際のないサービスの提供	① 指定管理者の実地調査(モニタリング)を実施	実施回数	2 回	2 回	2 回	100%	5	計画どおり、上期(8月)と下期(2月)に実地調査を実施し、指定管理者の運営状況を把握したため。	引き続き計画的に調査を実施する。	
			② 指定管理者の人件費や労働条件等の確認	実施回数	2 回	2 回	2 回	100%	5	計画どおり、上期(9月)と下期(3月)に調査を実施し、指定管理者の労務管理状況について把握したため。	引き続き計画的に調査を実施する。	
		施設設備の整備を行い、快適な読書環境を確保し、施設に対する市民満足度を向上させる	① 本館の館内設備の充実を図る	実施件数	2 件	1 件	3 件	300%	5	閲覧席にアクリル板を設置し、コロナ等の感染症予防対策をするとともに、見通しを良くして掲示物の整備をした。カウンターでは、アクリル板を通しての会話を聞き取りやすくするためにコミュニケーション(スピーカー)を設置した。また、児童コーナーの照明を一部LED化し、児童トイレの照明も明るくしたなど、設備を充実したため。	引き続き利用者の安全を確保しつつ快適な利用環境を確保するため、設備の充実を努める。	
			② 分館の館内設備の充実を図る	実施件数	16 件	3 件	22 件	733%	5	照明のLED化による明るさの向上、ロビーへのソファの移設、図書の配置換えや案内ボードの設置による探しやすさの向上、館内整理による車いす利用者の動線確保など各館が連携し、創意工夫により、館内設備の充実を図り、利便性を向上させたため。	老朽化した設備の更新が課題。引き続き、利用者が快適に利用できるよう、安全・安心の環境整備により一層努める。	
西武分館空調設備工事	① 西武分館空調設備工事	実施箇所数	2 箇所	2 箇所	2 箇所	100%	5	当初の計画どおり工事を実施したため。	年次計画により老朽化した空調設備を更新する。			

本館における午後8時以降の閲覧席開放について

令和4年度 月別平均 夜間 閲覧席利用数

(単位 席)

時間 月	17:30	18:30	19:30	20:00	20:30	21:00	20:00～21:00 の平均	17:30～21:00 の平均
4	10	9	6	6	6	4	5	7
5	19	16	13	13	12	9	11	14
6	12	12	10	10	10	9	10	11
7	15	11	11	8	8	7	8	10
8	16	13	10	8	10	9	9	11
9	15	15	15	14	13	10	12	14
10	29	27	25	24	23	17	21	24
11	14	14	12	12	12	11	12	13
12	19	16	14	14	11	8	11	14
1	17	14	12	10	11	9	10	12
2	18	15	13	12	13	10	12	14
3	14	13	9	8	9	8	8	10
平均	18	16	15	13	13	11	12	14

令和3年度 月別平均 夜間 閲覧席利用数

(単位 席)

時間 月	17:30	18:30	19:30	20:00	20:30	21:00	20:00～21:00 の平均	17:30～21:00 の平均
4	8	7	8	8	6	4	6	7
5	16	13	13	12	11	8	10	12
6	14	13	12	11	10	6	9	11
7	15	14	10	7	6	4	6	9
8	0	0	0	0	0	0	0	0
9	0	0	0	0	0	0	0	0
10	33	28	24	20	18	13	17	23
11	13	13	10	11	8	6	8	10
12	17	15	13	13	11	8	11	13
1	17	15	13	12	10	8	10	13
2	17	16	13	12	9	4	8	12
3	11	12	7	4	5	3	4	7
平均	13	12	10	9	8	5	7	10

令和2年度 月別平均 夜間 閲覧席利用数

(単位 席)

時間 月	17:30	18:30	19:30	20:00	20:30	21:00	20:00～21:00 の平均	17:30～21:00 の平均
4	0	0	0	0	0	0	0	0
5	0	0	0	0	0	0	0	0
6	0	0	0	0	0	0	0	0
7	18	17	16	13	12	9	11	14
8	17	14	10	8	7	5	7	10
9	16	14	14	12	10	8	10	12
10	18	18	15	14	11	8	11	14
11	16	14	13	11	9	7	9	12
12	17	15	13	12	11	9	11	13
1	0	0	0	0	0	0	0	0
2	0	0	0	0	0	0	0	0
3	3	4	3	2	2	0	1	2
平均	17	15	14	12	10	7	10	12

夜間開館における利用状況について

- 午後5時以降の入館者は、午後5時30分をピークに減っていく傾向がある。
- 午後8時以降は、全閲覧席の20～30%程度しか利用されていない状況が続いている。
- 1日当たりの閲覧席の平均利用人数は、午後8時で11人、午後8時30分で10人、午後9時では8人と少ない状況である。
- 午後8時から午後9時30分までの90分間、閲覧席を開放するために必要な費用は、空調運転の電気代を除き、1日当たり7,993円、年間では140万円ほどの費用が発生している。燃料費の上昇が続いていることから、より費用が増えることが予想される。
- 閲覧席を開放している1時間30分で、空調運転分を除く電気使用で3.95 kgのCO₂が排出される。これは、日本の一世帯平均の半分ほどの量である。

SDGs 未来都市計画の概要

- ・官民連携による地域資源を活かした未来共創のまちづくり
- ・誰もが心身ともに健康で幸せを実感できるまち「Well-being City いるま」の実現

＜優先的なゴール＞

